



浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第2回運営委員会



令和5年9月5日



1 開会

2 取組状況・各種動向

3 意見交換

- (1) 次代を担う人材の育成や参加促進
- (2) スタートアップとの連携促進
- (3) その他

4 閉会

あいさつ



委員長（浜松市副市長） 山名 裕

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- オンラインでの参加者
「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。
- 現地参加者
テーブルのマイクにてご発言ください。

2 取組状況・各種動向

(1) ウェビナーシリーズ

ウェビナーシリーズ

デジタル・スマートシティ浜松の一層の推進に資する「ウェビナー」を、年4回開催。

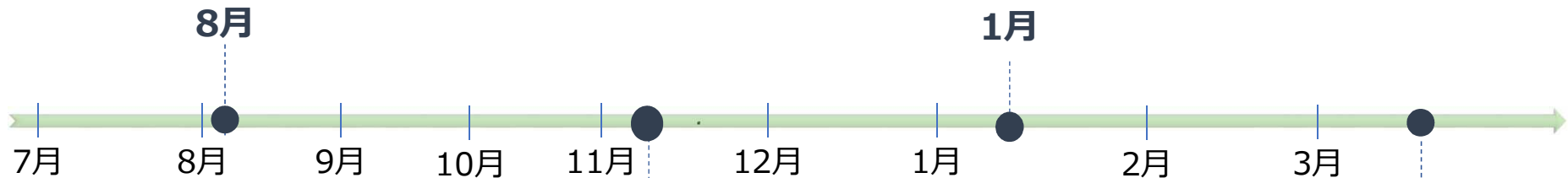
<スケジュールと紹介分野>

第1回

データ連携基盤を活用した
地域課題の解決と地域の活性化
～持続可能なエコシステムを目指して～

第3回

※調整中



第2回

次代を担う若者の参加による
デジタル・スマートシティの推進

第4回

※調整中

主催：浜松市、官民連携PF 対象：どなたでも視聴可能（無料）

第1回 データ連携基盤を活用した地域課題の解決と地域の活性化 ～持続可能なエコシステムを目指して～

令和5年8月3日（木）13：30-15：10
参加申込者：61名

取組紹介

- ① 「データ連携基盤を活用した取組と今後の展望」
浜松市デジタル・スマートシティ推進課
課長 瀧本陽一
- ② 「Make our Cityプログラム」
一般社団法人コード・フォー・ジャパン
MoCプロジェクトマネージャー 酒井一樹氏
- ③ 「データ連携基盤活用のSaaS提供」
インフォ・ラウンジ株式会社
代表取締役 肥田野正輝氏
- ④ 「IoTセンサープラットフォーム「Pifaa」を
活用したFiware-readyなサービスの共創」
株式会社村田製作所 技術・事業開発本部
Pifaa事業推進課
シニアマネージャー 今川健太郎氏
- ⑤ 公共分野のスタートアップ支援」
Amazon Web Services 岩瀬霞氏

パネル ディスカッ ション

- ▼登壇者
酒井氏、肥田野氏、今川氏、岩瀬氏、瀧本
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH 西村真里子 氏



浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2023-1>

(2) Solution Pitch & Meetup Event

Solution Pitch & Meetup Event

- 官民連携プラットフォーム設立以来初となる完全リアル開催。
- ソリューションをピッチするだけでなく、リアルな交流の場を設けることにより、より一層の会員間の連携を促進する。

開催概要

- ・ **開催時期**：9月7日（木） 15：00～17：00
- ・ **開催場所**：クリエート浜松2F ホール
- ・ **テーマ**：A 医療・健康・福祉・教育・子育て
B 防災・安全安心・モビリティ・インフラ管理
C 産業・農林業・環境・カーボンニュートラル
D その他
- ・ **参加人数**：63名（庁内各課：28名 官民連携PF会員：35名）
※登壇有19名、登壇無16名
- ・ **イベントプログラム**：

15：00～15：03	【開会挨拶】	デジスマ部長 水谷
15：03～15：10	【インプット】	浜松市フェロー 東氏
15：10～16：00	【ピッチ】	9企業登壇
16：00～17：00	【交流会】	

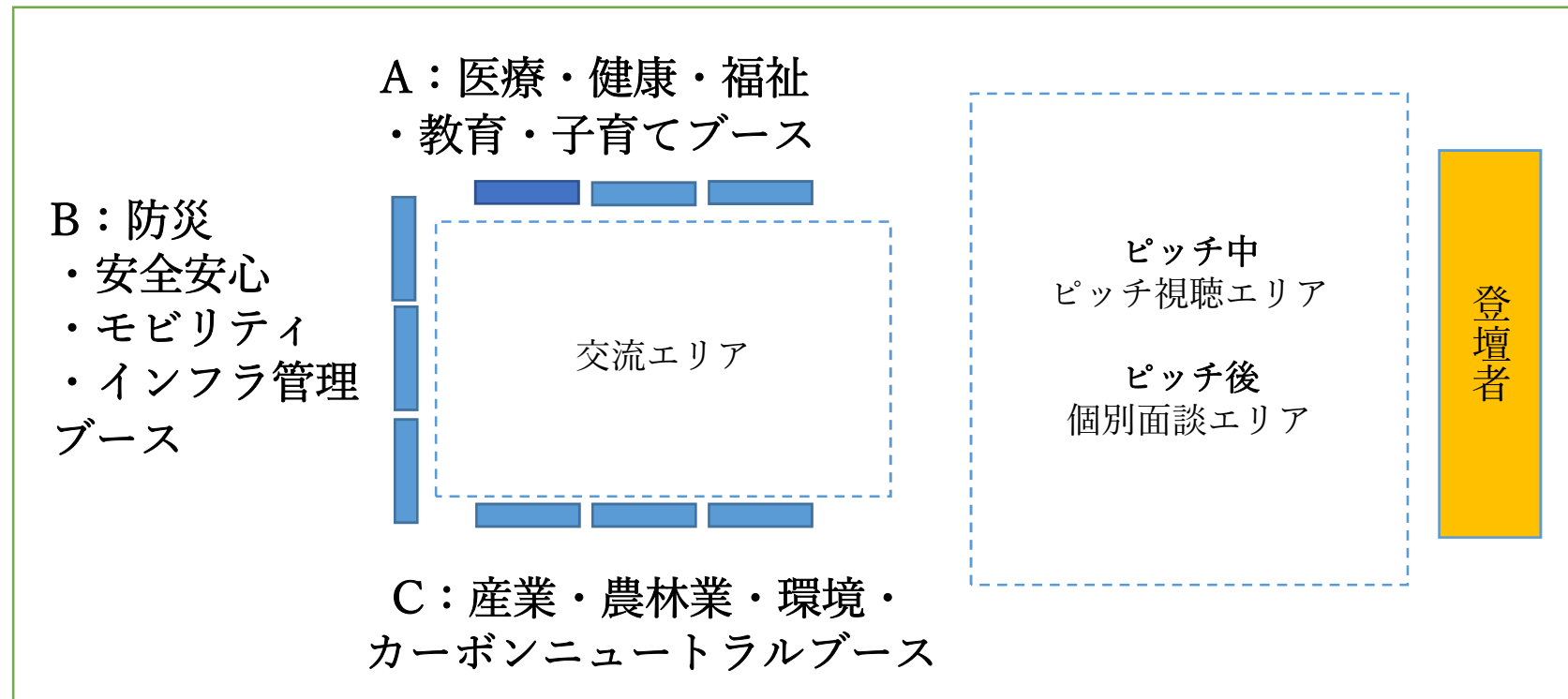
Solution Pitch & Meetup Event 登壇企業一覧

10

Digital Smart City
HAMAMATSU

No.	企業名	内容	テーマ
1	株式会社GreatValue	まちのDX「HERO」 (住民同士の助け合いサービス)	A
2	株式会社サインクリエイト	真にSDGsなクルマ社会実現への提案	B
3	株式会社フォレストシー	奥山・中山間地域でも繋がる自営のIoT 通信インフラを活用し、地域の各種対策 をスマート化	B
4	西日本電信電話株式会社 /株式会社地域創生Coデザイン研究所	森林・林業DX (森林資源価値の見える化等)	C
5	株式会社unerry	人流ビッグデータの活用について	D
6	xID株式会社	SmartPOST (通知・郵送のデジタル化)	D
7	ソフトバンク株式会社	生成AIの取組	D
8	株式会社filments	DX(動画トランスフォーメーション)内 製化支援プログラム	D
9	FUJIYAMA BRIDGE LAB 株式会社	GOFUN! (従業員同士のマッチングサービス)	D

※テーマの詳細はP9を参照



課名	
A	高齢者福祉課、健康医療課、健康増進課、秘書課（政策調査官） ウエルネス推進事業本部、次世代育成課、教育総務課
B	危機管理課、都市計画課、交通政策課、市街地整備課、道路企画課、道路保全課、 河川課、消防総務課、上下水道総務課
C	企画課、広聴広報課、情報システム課、スタートアップ推進課、環境政策課、 CN推進事業本部、観光・CP課、農業水産課、林業振興課、産業振興課

(3) Hamamatsu ORI-Project

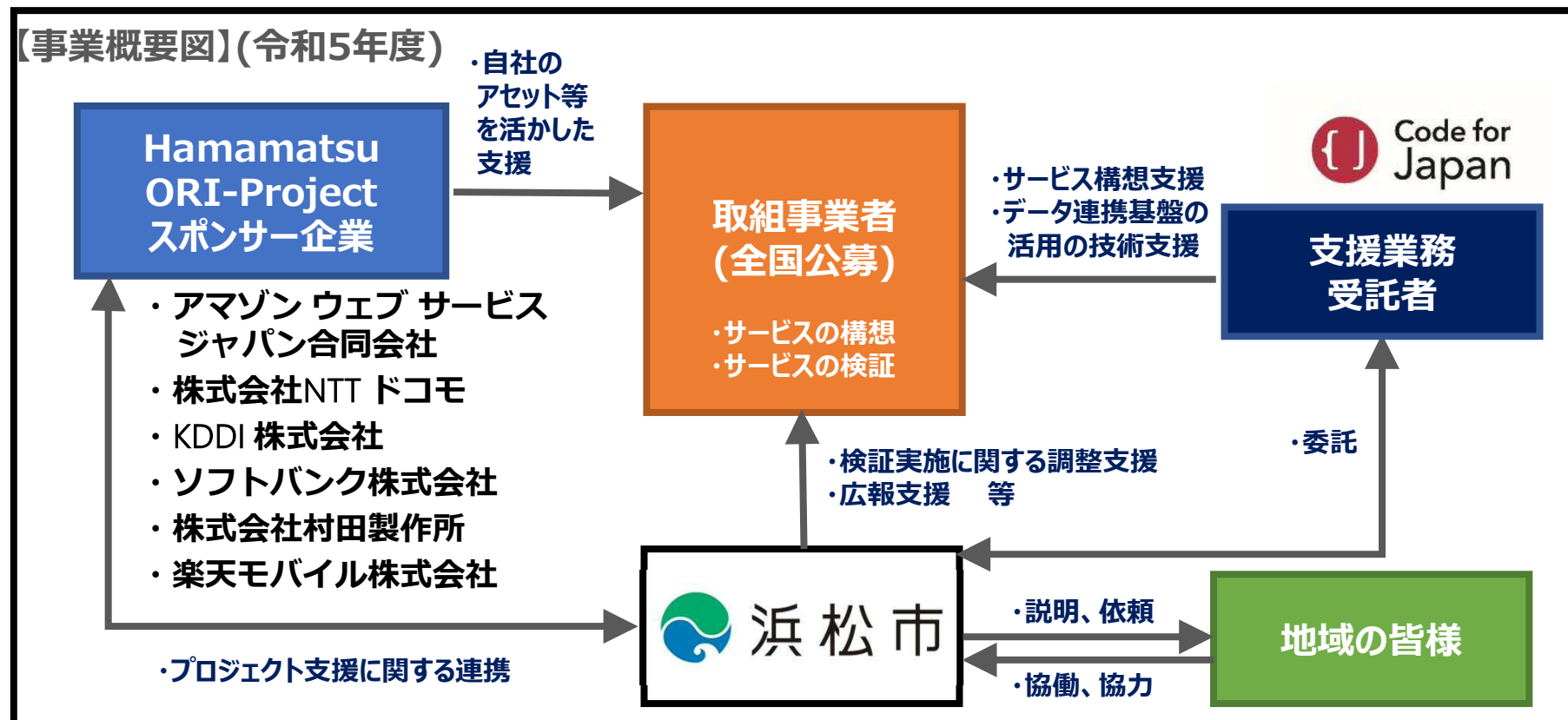
Hamamatsu ORI-Projectとは

- ・ 浜松市データ連携基盤を活用した新たなサービスやアプリケーションの創出を目指す取組（サービスの構想及びその検証）に対し、浜松市や連携支援団体が総合的な支援を行うものです。
- ・ 令和2年度からスタートし、令和4年度までに19件の事業検証（実証実験）の支援を実施しました。

▶ **Hamamatsu ORI-Project** （Hamamatsu **O**pen **R**egional **I**nnovation Project）
 正式名称：浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業

事業の目的

データ連携基盤を有効活用した新たなサービスやアプリケーションの官民共創



- 今年度は“Hamamatsu ORI-Project X”として次の3つの取組を並行して実施します。

Hamamatsu ORI-Project

1 <地域課題解決型>

浜松市データ連携基盤を活用した地域課題の解決策の検証

浜松市の各部門から提示された課題テーマについて、浜松市データ連携基盤を活用して解決を図るプロジェクトを公募し、有望案件について浜松市内における事業検証の支援を実施。

2 <スポンサー協業型>

浜松市データ連携基盤を活用したスポンサー企業との協業促進

Hamamatsu ORI-Project スポンサー企業の提示する浜松市データ連携基盤を活用する協業テーマについて、対応可能な事業者を公募し、スポンサー企業との連携による事業検証の支援を実施。

3 “データ・フュージョン・キャンプ2023”の実施

浜松市内でのハッカソン、データ連携基盤のオンライン研修や開発されたプロトタイプの継続フォローアップ等を組み合わせた継続的なサービス開発実践プログラムを実施。

■ 事業公式WEBサイト：<https://www.ori-project.hdsc.city/>

- 株式会社村田製作所から下記の協業テーマをご提示いただきました。

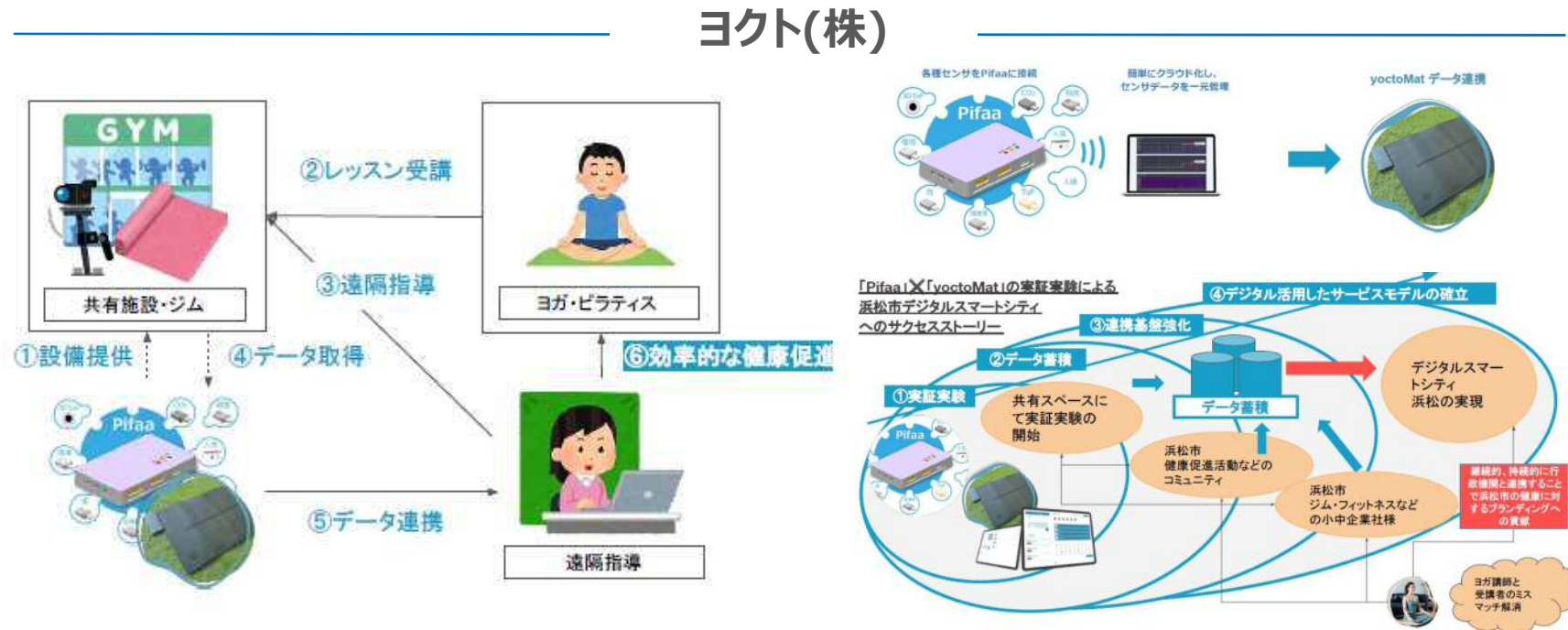
タイトル

フレキシブルなIoT センサプラットフォーム「Pifaa」を活用した Fiware-ready なサービスの共創

概要

- 下記のような特徴をもつセンサ・ゲートウェイ・クラウドで構成される**IoTセンサプラットフォーム「Pifaa」**について、**浜松市データ連携基盤との接続を行い、Fiware-readyで、センサプラットフォームとして確立させる。**
 1. センサ/Pifaa xSensor
温度・湿度・気圧・照度・人流など全9種類あり、様々な環境情報が取得可能。
 2. ゲートウェイ/ Pifaa Edge
Pifaa xSensor でセンシングした情報をクラウドにアップロードする中継器。センサの変更・新規追加が簡単にできる特長がある。
 3. クラウド/Pifaa Cloud
Pifaa Edge 及び他社無線センサのデータを蓄積・可視化でき、サードパーティ製へのクラウドAPI 連携も可能。
- 本センサプラットフォームを活用した**Fiware-Ready なサービスアイデアを共につくりあげ、浜松市をフィールドとした検証を経て、拡大させていくパートナーとなる企業**を幅広く募集。

- 株式会社村田製作所から提示のあった協業テーマについて、下記のデータ連携基盤を活用した協業による実証プロジェクトを採択しました。



事業名称	「Pifaa」×「yoctoMat」IoT技術を活用したヨガ・フィットネス
事業概要	<p>ヨクト(株)の有するIoTヨガマット（織物製の重圧センサーが搭載されており、そのセンシングデータを専用アプリと連携させ、ヨガ実施者の手や足の位置、重心を可視化可能）から得られるデータとPifaaを通じて取得できる現地の環境データ等を組み合わせることで、オンラインによるヨガ指導の質を向上させることを目指す。</p> <p>令和5年度は、市内の公共施設や協力企業（ジム）等にIoTヨガマットやPifaa等の機材を設置し、モニター受講者に対するオンラインによるヨガ指導の実証実験を行い、ケガのない効果的なヨガ指導を実施できるか検証する。</p>

“データ・フュージョン・キャンプ2023”の概要

17

Digital Smart City
HAMAMATSU

- 浜松市内でのハッカソンを中心とした、浜松市データ連携基盤を活用したサービス開発実践プログラムとして実施します。
- 8月22日（火）まで参加募集を行い、36名からエントリーをいただきました。



Hamamatsu ORI-Project X

浜松で地域課題解決やらまいか！
データ・フュージョン・キャンプ 2023
浜松市データ連携基盤を活用したサービス開発実践プログラム

2023年8月22日 キックオフイベント @オンライン

2023年8月～9月 データ連携基盤 研修プログラム @各自オンライン受講

2023年9月21日 ハッカソン @浜松市

2023年9月～翌年3月 継続フォローアップ ＊希望チーム対象

■ 紹介サイト：<https://hamamatsu-data-fusion-camp-2023.peatix.com>

“データ・フュージョン・キャンプ2023”の進捗

- 8月22日（火）、データ・フュージョン・キャンプ2023のキックオフイベントをオンラインで開催しました。
- プログラム参加者は、これから専用のSLACKチャンネルに参加し、交流を深めていながら、データ連携基盤の研修プログラム（3回シリーズの動画の形で提供）を各自で受講します。
- 9月21日（木）には、浜松市中区のCo-startup Space & Community FUSEを会場として、ハッカソンを開催する予定です。



キックオフイベントの様子



データ連携基盤 研修プログラム動画

(5) 令和5年度デジタル・スマートシティ MONTH

MONTH事業の目的

- デジタル・スマートシティの理念や趣旨の普及・浸透を図る。
- 先進技術を活用したサービス等に、市民の方が触れる機会を設けることにより、「デジタル・スマートシティ浜松」推進の機運を醸成する。

開催期間

令和5年10月

※〈国〉デジタルの日 令和5年は10月1日、2日

開催内容

- 冠事業の実施
- 官民連携プラットフォームが開催する**主催事業としてのオンラインフォーラム**
- 令和5年度創設「**はままつWell-Beingアワード**」結果発表及び受賞式

今年度も、企業や各種団体が実施するイベントやセミナーを募集。期間内の様々な時期で開催。

目的

市民の皆様に“デジタル・スマートシティ浜松”を身近に感じていただき、一緒に浜松の未来を考えていく機会とする。

募集事業

以下のすべてに該当する事業

- ・ デジタル・スマートシティに関連したイベントやセミナー
- ・ 広く一般の参加を募る（または参加できる）事業
- ・ 令和5年10月に行われる事業
- ・ 浜松市内で行われる事業
- ・ 企業・団体（団体としての規約を有するもの）が行う事業

募集スケジュール

募集開始：6月19日

応募締切：7月28日→ 8月10日まで延長

事業選定：8月 **24件を選定**

事業周知：9月上旬

冠事業一覧ホームページURL
<https://www.month.hdsc.city/events2023>

10月1日、静岡新聞にて冠事業を紹介。紙面には東フェローが聞き手となり、「Well-Being」をテーマに南雲フェローと中野市長が対談する記事が掲載される予定。

(6) はままつWell-Beingアワード2023

はままつWell-Beingアワード



浜松市民の幸福感向上に資する企業・団体のサービスや取組を表彰

目的

企業や団体のWell-Beingに関する取組を顕彰し、もって企業や団体の取組を促進することで、浜松市民の幸福感向上を図ることを目的とする。

表彰の種類

- **はままつWell-Beingデザイン賞**
浜松市民の幸福感向上に良い影響をもたらすことが期待される取組やサービスのうち優れたもの
- **はままつWell-Beingインパクト賞**
浜松市民の幸福感がどの程度向上するか、地域幸福度(Well-Being)指標や企業・団体独自の指標（アンケート等）を用いて測定されており、地域（浜松市）の幸福感向上への波及効果が認められる取組やサービスのうち優れたもの

募集スケジュール

募集開始：7月7日

応募締切：9月1日

選考：9月中

結果発表：10月2日

表彰式：10月11日

※浜松市役所本館にて表彰式を開催

応募状況

- ・インパクト賞（3件）
- ・デザイン賞（7件）

3 意見交換